

この停電!

復旧はいつなんだ?

長時間の
停電対策は
コレで
決まりじゃ
ないか!

なに?
燃料
不要
だつて?

「事業継続力強化・防災減災」設備投資促進税制 対応

求められるのは?

》》 エコで強い! 停まらない電源!

BCP に不可欠な
電力 エネルギーを
高確率 で担保する

停電のストレスに終止符を!

MSD-BOX

低炭素型 BCP 給電コントロールシステム

Multi Switching Device-BOX

【西日本豪雨災害】～ 医療現場に“灯り”を！～ 停電の12日間、燃料不要で単独24時間連続給電を実証！

防 災対応型のパワーストレージ【MSD-BOX】は、西日本豪雨災害の絶望的な電力環境下、被災地の医療現場に安定した「灯り」を提供し、現在も無故障で連日稼働を続けている。

2018年7月6日夕刻、広島市安芸区一帯は集中豪雨による土砂災害により全世帯が電力エネルギーを喪失し連日 夜間は暗闇を余儀なくされた。

同地区にある公立病院は MSD-BOX を5年前から病棟の照明用電源として導入していたもので、停電時には自動で独立回路に切り替わり 連続使用が求められる「灯り」を担保した。

同病院は、非常用発電機の連続運転を止め、備蓄燃料を節約する“間欠運転”を実施。MSD-BOX との連携により **電気が復旧するまでの12日間を 外部からの燃料補給を受けることなく、僅か3日分の燃料で 外来患者の受容れを制限することなく地域医療を継続維持した。**

同 施設に設置されていた MSD-BOX は、既存の商用配電回路に自然エネルギーを混合させる「オングリッド型給電システム」。複数の受電系統を持ち合わせ システム内に『電気のだム』を構築し 停電でも極限まで給電を停めない特許技術を持つ。

日中は太陽光発電エネルギーを地産地消し、災害停電時の夜間のみバッテリーに蓄えた電気を利用する。コンパクトで軽量の MSD-BOX は テナントオフィスや店舗など、騒音や排気ガスの問題でバックアップ電源が配備できなかった場所への設置も可能であり、**停電時の切替や配線作業も一切不要** なため、緊急時に“ 担当者が不在”であっても、ストレスなくそのままの状態 で 24 時間高品質な電力を利用することが出来る。



M SD の特許技術は既に、全国各地の放送局の中継所や灯台等の無人施設でも利用され、「BCP（事業継続性計画）に必須となる電源」をフルオートで供給し続けている。

用途：医療機関 ▶ 処置室・病室・通路エントランス等の照明、電子機器、通信機器など
 公共施設 ▶ 避難所の照明、情報機器、安否確認システム、防災無線など
 企業団体 ▶ 復旧作業に必要な照明、防災 BCP に必要なネットワーク、サーバーなど

※ 定格出力：50W～10kW までカスタマイズ対応

災害時の「給油」や「充電」はもはや不要！
「静音」&「無煙」&「軽量」&「コンパクト」
これからの防災電源に『もうひとつの選択』を！

詳しくは ⇒ <http://www.msd-box.com/>

SUPPLIER



製造元 **有限会社 平川製作所**
 〒739-0321 広島市安芸市中野 2-40-18-36

販売元 **合同会社 PDジャパン**
 〒381-2221 長野市川中島町御厨 1387 番地 3
 TEL : 026-214-3929 / FAX : 026-214-9024
 E-mail : info@pd-japan.com

